



語り継げ！ 羽越水害 子に孫に 羽越水害から50年

羽越水害の
体験談を
募集します！

体験談
募集中

50年特設サイトから応募できます

<http://www.hrr.mlit.go.jp/uetsu/contents/50th/index.html>



関川村下関駅前

あれから50年。

荒川流域に甚大な被害をもたらした昭和42年の「羽越水害」から平成29年に50年の節目を迎えます。羽越水害から50年が経過し、その間、各種の防災対策が進み、人々の防災に関する意識が薄れて来ています。一方、近年は気候変動が激化し、災害の危機性はさらに増しています。50年目を契機に、羽越水害とその後の防災を振り返るとともに、現在直面している災害危機対応について、流域の人々と考える取り組みとして、「羽越水害50年記念事業(荒川水系)」を実施します。

■記念シンポジウム

- 開催日 平成29年8月26日(土) 13:20~16:30
- 開催場所 村上市民ふれあいセンター 大ホール
- プログラム
 - ・中学生による吹奏楽演奏
 - ・絵画コンクール、フォトコンテスト表彰式
 - ・講演「特別警報と気象災害への備え」
 - ・羽越水害体験者や学識者などによるパネルディスカッション



講師：天達武史氏
(気象予報士)

■フォトコンテスト

- 応募期間 平成29年5月31日(水)まで必着
- テーマ 『荒川水系※』を題材とし、「水のある風景(荒川水系の美しい風景)」「水とふれあう人(川と人、川にまつわるイベント、川と人々の暮らし等)」。
※荒川水系とは、一級河川荒川と荒川に流れ込む女川、大石川、横川などの支流も含めた呼び方です。
- 対象者 アマチュアの方で、未発表作品に限ります。
- 応募要項 詳細については、50年特設サイトをごらん下さい。

■荒川総合水防演習

- 開催日 平成29年5月27日(土) 8:30~12:30
- 開催場所 新潟県村上市荒川縁新田地先(荒川橋下流河川敷)
- 訓練内容
 - ・消防団による各種水防工法訓練
 - ・防災機関による救難救助訓練
 - ・地域住民による避難訓練
 - ・災害時応援協定団体等による各種訓練



■絵画コンクール

- 荒川流域の小学生から羽越水害と川への関心を深めてもらうために、「川とのふれあい」をテーマに絵画を募集します。
- 応募期間 平成29年5月31日(水)まで
- テーマ 「川とのふれあい」
川の自然風景、川で遊ぶ人たち、川でのイベントなど
- 対象者 荒川地域市町村の小学校1年生~3年生(旧村上市、旧荒川町、旧神林村、関川村、胎内市、小国町)
- 応募要項 詳細については、50年特設サイトをごらん下さい。

■巡回パネル展

- 開催内容 羽越水害に関する写真や新聞記事などの記録について、近隣市町村役場等に巡回展示します。

■治水歴史巡り

- 開催内容 治水にまつわる史跡を巡り、治水に関する歴史・文化に理解を深め、洪水に対する防災意識の高揚を図ります。

■関連行事

- えちごせきかわ
大したもん蛇まつり
- 平成29年8月26日(土)・27日(日)
- 花火大会、大盆踊り大会、大蛇パレード



主催 羽越水害50年記念事業(荒川水系)実行委員会
村上市、胎内市、関川村、小国町、新潟県村上市地域振興局地域整備部・農林振興部、新発田地域振興局地域整備部、山形県置賜総合支庁建設部、国土交通省北陸地方整備局羽越河川国道事務所、飯豊山系砂防事務所、東北地方整備局山形河川国道事務所、新発田地域広域事務組合消防本部、荒川沿岸土地改良区、東北電力(株)、荒川水力電気(株)、赤芝水力発電(株)、新潟日報社

協賛 (一社)北陸地域づくり協会

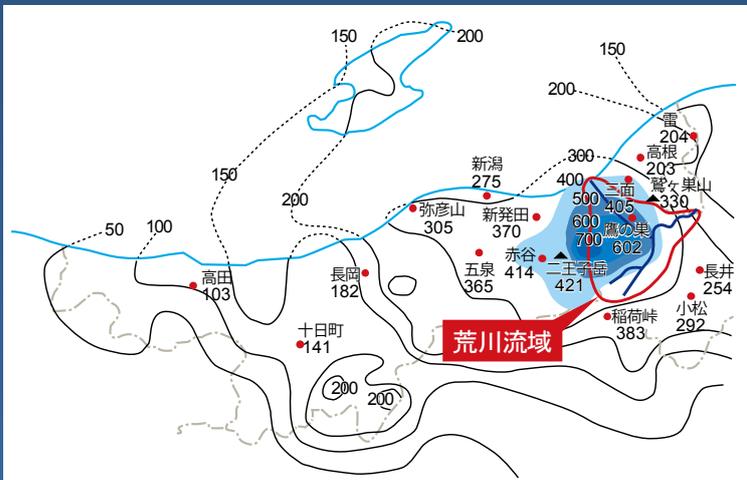
後援 毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、朝日新聞新潟総局、日本経済新聞社新潟支局、産経新聞新潟支局、榊村上新聞社、(有)いわふね新聞社、山形新聞・山形放送、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、N S T、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、テレビユー山形、(株)山形テレビ、さくらんぼテレビ、村上市教育委員会、胎内市教育委員会、関川村教育委員会、小国町教育委員会、村上岩船ロータリークラブ、置賜森林管理署、関東森林管理局下越森林管理署・村上支署、東日本旅客鉄道(株)新潟支社、荒川郷総合開発促進協議会、飯豊山系砂防促進協議会、井の土地改良区、関川村土地改良区、荒川漁業協同組合、荒川サケ有効利用調査委員会、小国町漁業協同組合、村上市商工会議所、荒川商工会、神林商工会、関川村商工会、中条町商工会、黒川商工会、小国町商工会、(一社)いわふね青年会議所、「清流」荒川を考える流域ワークショップ【順不同】

【問い合わせ】 羽越水害50年記念事業(荒川水系)実行委員会 事務局(国土交通省 北陸地方整備局 羽越河川国道事務所 調査課)
〒959-3196 新潟県村上市藤沢27-1 TEL:0254-62-6038 FAX:0254-62-1411

羽越水害とは・・・

流域平均雨量で約430mmの記録的な豪雨が、山形・新潟両県を襲ったのは、昭和42年8月28日のことでした。

新潟県北部では、上層に北西からの乾燥した空気が入り、下層では南西からの湿った暖気が入り込む「対流不安定」と呼ばれる特異な大気の状態となりました。このため前線の活動が活発となり、新潟・山形両県に28日から29日にかけて記録的な集中豪雨が襲い、荒川流域の各所で堤防の決壊、土石流、がけ崩れ等を引き起こし、日本の災害史上に残る大惨事「羽越水害」となりました。



総雨量分布 (昭和42年8月26日9時～30日9時)

羽越水害の概要

1. 発生日 昭和42(1967)年8月28～29日
2. 降雨原因 停滞前線
3. 流域平均雨量 約430mm/日
4. 最大流量(推定値) 約8,000m³/s(花立地点)
5. 被害(荒川流域内)
 - ・死者行方不明者 : 90名
 - ・浸水面積 : 5,875ha
 - ・全壊・流出家屋 : 1,056戸
 - ・半壊・床上浸水 : 8,081戸
 - ・床下浸水 : 1,958戸
 - ・被害金額 : 約226億円(当時)



堤防決壊による浸水状況(旧神林村平林地区)



堤防決壊による浸水状況(関川村雲母地区)



国道113号下関(関川村)



国道113号川口橋(大石川)



国道113号小国橋(小国町)



羽越水害殉職者の碑(現村上市川部)



神林村役場前(旧神林村)



坂町駅前(旧荒川町)